

第35回 糖尿病を知るつどい (アオーレで知ろーれ糖尿病)2023

令和5年11月19日(日)、アオーレ長岡にて第35回糖尿病を知るつどいに参加しましたのでご報告致します。今回のテーマは「それってホント?糖尿病治療の新常識」です。中越支部では簡易血糖測定・HbA1c測定を実施しました。当日の来場者は50名、血糖・HbA1c測定30名、実務参加(中越支部理事)10名でした。

検体採取と検体の測定は分担して行いました。お互い協力しながら検査を行えたので、順調に結果をだすことができました。
当日は気温が低かったため、指先が冷たい方は温めてから採血をするように心掛けました。

測定



今回のイベントで1人でも多くの方が糖尿病について正しい知識を知り、関心をもって健康を心がけるきっかけとなれば幸いです。



令和5年度中越支部ふれあい研修会

令和5年12月2日(土)、ハイブ長岡にて中越支部ふれあい研修会を開催いたしましたのでご報告致します。講演テーマは「何度聞いてもためになる！日常検査の基礎とピットフォール」です。

当日の参加者は技師会員27名、その他9名の合計36名でした。

【講演1】感染症診断に用いるイムノクロマト法とPCR検査について

講師：(株)ミズホメディー 営業企画部 学術課 古賀稔 様

前半はイムノクロマト法の原理や調整法およびメリットやデメリット、様々な要因で起こるピットフォールについて、後半では核酸増幅法(PCR)について、遺伝子検査のメリットとデメリット、精度管理、注意すべきピットフォールについてのご講演でした。画像や実際に使用する診断キットを用いながら、分かりやすく丁寧にご講演いただきました。新型コロナウイルスが蔓延しより触れる機会が多くなった感染症の診断検査は、検査をするうえでの注意すべきポイントが多いと改めて感じました。



【講演2】血液型について～Zoom講演～

講師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクスイムノヘマトロジー
事業部マーケティング部 テクニカルサービス 齋藤大輔 様

輸血検査をするうえでの基礎であるABO血液型検査、RhD血液型検査についての歴史や検査の構造、検査をするうえでの注意すべき点についてご講演いただきました。

誤った輸血製剤の選択や検査の判定は大変危険であるため、より正しい知識と技術が求められます。また、各病院や施設で改めてガイドラインの見直しや周知を行い、患者間違いを起こさないための工夫や予期せぬ検査結果がでた場合の対処などを徹底する必要があることも学びました。



【講演3】 グラム染色・抗酸菌染色について

講師：新潟県済生会三条病院 渡邊亮太 技師

グラム染色・抗酸菌染色の基礎、作製や鏡検のポイントについてご講演いただきました。グラム染色は迅速で安価といったメリットがある一方で、菌の数によって検出限界があったり技師間差がでたりというデメリットもあります。普段細菌検査を担当していない技師はより手技の再確認が必要となります。また、抗酸菌染色では感染対策を徹底したうえで、アーチファクトにも気を付ける必要があります。より高度な技術が求められます。見落としがちな留意点を多く学びました。



今回の講演では、それぞれの分野で検査技師が注意すべきポイントをご教授いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

(文責：JA 厚生連 長岡中央総合病院 石井唯奈・常木菜々恵)

<中越支部 今後の予定>

令和6年3月16日(土) 「令和5年度中越支部講演会・通常総会」
【会場】ハイブ長岡

皆様の参加をお待ちしております。